



たかの
高野 たけし
無所属 47歳

逗子市議会議員（5期）

・逗子市議会議員

・逗子市観光協会 理事

・神奈川県議長会 監事

・全国市議会議長会基地協議会 理事

高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

9月に発生した台風15号、10月に発生した台風19号は各地に甚大な被害をもたらしました。被災された皆さまにお見舞い申し上げるとともに、被災地の1日も早い復旧・復興を願っております。

【逗子市の被害状況】

	台風15号	台風19号
総雨量	149.5mm	174.0mm
時間最大雨量	38.5mm	22.5mm
最大瞬間風速	36.8m/s	33.6m/s
人的被害	0件	1件
住家被害	半壊1件・一部破損32件	半壊1件・一部破損42件
非住家被害	0件	4件
倒木	71件	44件
崖崩れ	9件	3件
停電	4,900戸	1,166戸

大雨・強風をもたらした台風は本市にも大きな爪痕を残して北上。特に台風15号による道路インフラの被害は甚大で、市内3ヶ所のトンネルが土砂の崩落により通行止めとなってしまいました。そのため、市内は中心部だけでなく各所で交通渋滞が発生し、日常生活にも大きな影響を及ぼすことに。

特に被害の大きかった小坪トンネルは復旧までに15日間を要しました。



政治資金の残り

38,598円

(9月～11月の内訳)

支出…ポスター掲示用両面テープ

2,253円

一連の超大型台風の上陸で浮き彫りになった災害時対応の課題について、行政当局に検証と改善を求めました。

・自主避難所の増設

行政主導の自主避難所は各小学校区1ヶ所のみとなっているため、居住地によってはかなり遠い距離を移動しなければならない方もいます。そのため、現在指定している自主避難所の位置などを鑑み、各小学校区の自主避難所の増設を検討するよう提言しました。

・自主防災組織との連携

災害時には行政主導で各地区に防災拠点を設置、地域住民でつくる自主防災組織と連携し迅速な避難体制の構築を図るべき旨、提案しました。

・避難所のリアルタイム情報

台風19号の上陸前にはテレビやインターネットなどで早目の避難を呼びかけていたこともあり、本市でも730人の市民が避難しました。特に避難者の多かった市民交流センターでは定員を大幅に上回ったため、急遽逗子小学校の体育館を開放し、避難者の受け入れ態勢をつくることに。

各避難所の開設状況に加え、定員数や避難者数など、リアルタイムの情報を市民に伝えることができれば、落ち着いて避難行動に移れるのではないかと思います。

・停電原因等の情報收拾と発表

台風15号の時には長い地域で3日間も停電が続きました。その間、停電の原因も復旧の見通しもわからず不安な日々を過ごされたことと思います。こうした状況を改善すべく、東京電力との連絡体制を強化し、行政が情報を取得、市民に周知する方策を協議すべきと考えます。

視察レポート ～ 武蔵野プレイス ～

東京都武蔵野市にある武蔵野プレイスは、地上4階、地下3階の建物（延べ床面積9,809.76㎡）の中に、図書館・市民活動支援・生涯学習支援・青少年活動支援の機能を併せもった施設です。武蔵野市は奉仕人口一人当たり貸出冊数が16.8冊（全国平均5.5冊）と全国の市の中で1位となっていますが、武蔵野プレイスの年間貸出件数は1,113,524件（蔵書数：179,551冊）と市内に3つある図書館の中でもダントツで、年間来館者数も190万人を超えています。全国的に見ても複合型の図書館が増えていますが、コンセプトを明確にし、それを利用者目線で具現化していることが人気の理由ではないかと感じました。

そして、外観だけでなく室内や細部まで曲線的なデザイン（2016年建築学会賞受賞）も利用者に愛される大きな要因になっているのではないのでしょうか。

さらに、館内にある掲示物を「ヒラギノ」という書体で統一しているところも居心地の良さにつながっていると思いました。

本市の図書館も多くの市民に利用されている施設ですが、近接する文化プラザホールや交流センターとの連続性においては改善の余地があるため、視察で学んだことを活かし利便性を高めていければと考えています。



図書館ゾーン

図書館機能はB1（約83,000冊の蔵書とインターネットを利用できるパソコン、調べ物の手伝いをしてくれるレファレンスカウンターを配置）を中心に、2F（日常生活ごとに並べられた約30,000冊、乳幼児から小学生までを対象にした児童図書約40,000冊のほか、おはなし会などできるスペース）・1F（新たに購入された本や予約本の貸し出しコーナー）・B2（芸術に関する本と青少年向けの本約23,000冊が集められたライブラリー）と、テーマごとにフロアを区分して配置されています。



市民活動ゾーン

市民活動支援は3Fにあり、作業や簡単なミーティングを行えるワークラウンジ（登録団体優先）に加え、市民活動に役立つ図書や資料の閲覧ができる情報スペース、印刷機や紙折機などのあるプリント工房を配置。既存団体だけでなく、これから活動したいと考えている団体・個人へのサポート体制も充実しています。



生涯学習ゾーン

生涯学習支援は3Fと4Fに。3Fは無料で利用できるスタディコーナーと大きさの異なる（10～40人程度）会議室があります。4Fは最大約200人で利用できる大会議室に加え、個人の書斎的空間をイメージした有料のワーキングデスク（40席の利用率は平日で約45%、土・日・祝日で約90%）が用意されています。

青少年活動ゾーン

青少年活動支援はB2。卓球やクライミングができるオープンスタジオ、アンプスピーカーやドラムセットも用意されているサウンドスタジオ、簡単な調理や工芸ができるクラフトスタジオに加え、多様な家具が配置されたラウンジ（飲食も可能で19歳以下のみ利用できる）もあり、多くの青少年の憩いの場となっています。

Café Fermata

1Fのオープンスペースには地元の方が運営するカフェも併設。飲み物や軽食、スイーツなどが提供されています。また、17時からのディナータイムにはアルコールも楽しめるため、連日多くのお客様で賑わっているとのこと。

